

# NIA LETTER

Niigata International Association  
公益財団法人 新潟県国際交流協会

2026.3 Vol. 31



中学生部門 最優秀賞

白南革命  
(新潟市立白南中学校)

「学ぶことは生きること  
— 夜間中学校を通して考える  
未来のカタチ —」



## 特集 P2 祝第20回 国際理解教育 プレゼンテーションコンテスト



高校生部門 最優秀賞

Eco Chic  
(新潟明訓高等学校)

「廃棄米×ファストファッション  
から考えるプラスチック」



### Contents

- 新潟県国際交流員(CIR)インタビュー! ..... P2
- JICA新潟デスクだより ..... P4
- 外国人相談の窓から — 外国人相談センター通信 — .... P4



■ 発行:公益財団法人 新潟県国際交流協会

〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島5番1号 万代島ビル2階 TEL:025-290-5650 FAX:025-249-8122  
E-mail:nia21c@niigata-ia.or.jp Webサイト: <https://www.niigata-ia.or.jp/>



2025年(令和7年)12月21日(日)、朱鷺メッセ国際会議室(マリンホール)で第20回目となる国際理解教育プレゼンテーションコンテストが開催されました。最優秀賞を除く各賞の受賞結果は以下のとおりです。

### 中学生部門

- 優秀賞**
  - ハンサムいわし(新潟市立下山中学校)  
「避難所×国際理解 ～違いを超えて共に生きる～」
  - Beyond Borders((公財)長岡市国際交流協会)  
「ちがっていても面白い!異文化から学ぶ」
- 優良賞**
  - シーラカンス(新潟明訓中学校)  
「Know more about each other」
  - NOVA(個人)  
「世界をさあアップデートしよ!」
- 審査員奨励賞**
  - ゼロロス4(新潟明訓中学校)  
「SDGs 食品ロス貧困」



### 高校生部門

- 優秀賞**
  - ディスカス(新潟県立三条高等学校)  
「世界を広げる読書 —Discussion Reading—」
  - 目黒商事 三条支店(新潟県立三条商業高等学校)  
「プロジェクトFT2025 ～FT商品で世界と地域をつなげ!～」
- 優良賞**
  - Glocal部(新潟県立燕中等教育学校)  
「あったかいごはん、あったかい居場所」
  - 北越高校 English Club(北越高等学校)  
「「空気を読む」これって、日本だけ?」
- 審査員奨励賞**
  - 水なすマカロン(上越高等学校)  
「一杯のバケツに2時間、命の距離8キロメートル」



### 受賞チームの発表が知りたい!

中学生部門で最優秀賞に輝いたチーム「白南革命」は、「学ぶことの意味とは何か」という問いから探究をスタートしました。その答えを探すため、

- ①夜間中学校の現状を知るために、市役所や夜間中学校を訪問
- ②キルギスとオンライン交流を行い、世界の学びに触れる
- ③日本語教室での活動を通して、多様な学びの現場を体験

といった、幅広い取組を行いました。

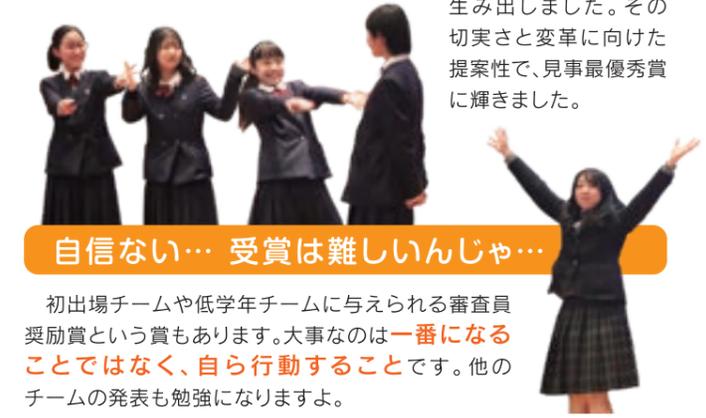
これらの活動を通して、チームは「世界中の人が学べる場をつくりたい」「学びを通じて交流したい」という思いを強くし、夜間中学校の存在や意義を知ってもらう活動へと発展させていきました。

最後に、チームなりの「学ぶことの意味」と、そこから広がる未来の形を力強くまとめ、見事最優秀賞に輝きました。



高校生部門で最優秀賞に輝いたチーム「Eco Chic」は、新潟県で問題となっている廃棄米と、世界的に深刻化するファストファッションによるプラスチック廃棄という、一見別々に見える2つの課題を結びつけ、新たな解決策を提案しました。

チームは、廃棄されてしまう米を資源として生かす方法を模索する中で、服のボタンにライスレジンというバイオマスプラスチックを活用するというアイデアを着想しました。その実現に向けて、企業や大学、学校への調査・研究を重ね、ファッション分野に分類されるアクセサリショップにショッパーの素材変更を提案し、配付する取組へと発展させました。この活動は、プラスチック廃棄量の削減にとどまらず、人々の環境意識を具体的な行動へと変える成果を生み出しました。その切実さと変革に向けた提案性で、見事最優秀賞に輝きました。



### 自信ない… 受賞は難しいんじゃない?

初出場チームや低学年チームに与えられる審査員奨励賞という賞もあります。大事なことは**一番になることではなく、自ら行動すること**です。他のチームの発表も勉強になりますよ。

### 「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」ってなに?

国際理解教育プレゼンテーションコンテストは、高い国際意識とコミュニケーション能力を身につけた若者の育成や、県民の国際理解の推進を図るため、県内の中学生・高校生自らが国際理解に関して自由な発想で率直に発表を行うコンテストです。3~5名のメンバーで構成された新潟県の中高生が、地球規模での問題、多文化共生、日本と海外との関係における問題など、「国際理解」について普段考えていること、行動したいと思っていることをチームで発表します。



# 祝 第20回! 国際理解教育プレゼンテーションコンテスト



### みんなどんなことを発表してるの?

- なぜ? **問い**
- アイデア! **仮説**
- 検証**
- まとめ・発表**

国際理解に関係することです。2025年度は、食品ロス、他者理解、ファストファッション、フェアトレード、多文化共生、多様な人々とのコミュニケーション、世界の教育格差、世界の水格差などがテーマになっています。

一つの例ですが、まず、国際理解について「**なぜだろう?**」と思ったことを見つめます。次に、**自分たちなりの解決方法**を考えます。その考えが正しいかを、調べたり行動したりして**確かめ**ます。分かったことや考えたことを自分たちの言葉で**まとめ**、相手に伝わるように**発表**します。この流れを進めると、分かりやすいプレゼンになります。学校の総合的な学習の時間で学んだことや、部活や地域で体験したことを深めていってもいいですね。



審査員の声

自分が出場して変化するだけでなく、他の人の発表を聞いても変化が生まれ、それが国際的な大きな一歩になることを期待しています。



参加者の声

テーマや内容で悩んだが、みんなと何か乗り越えて今日という舞台に立つことができた!この満足感・達成感は二度と味わえないだろう!

プレゼンテーションコンテストは、毎年7~9月に応募を受け付け、12月に開催します。詳しくは、こちらのQRコードから特設サイトをご覧ください。  
みなさんのご応募をお待ちしております!



### 国際理解教育プレゼンテーションコンテストの歴史

2006年(平成18年)12月16日に初めて開催されて以来、新潟県の年末の恒例行事として定着している「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」が、2025年(令和7年)に第20回を迎えました。この間、東日本大震災や新型コロナウイルスの影響により、海外スタディツアーの中止を余儀なくされたことはありましたが、コンテスト自体が中止されることなく毎年開催されてきました。

この20年間で約1,600名もの若者が朱鷺メッセに集い、プレゼンを作り上げる過程で得た経験を、それぞれの将来に活かしてきました。これからも新潟県のグローバル化を推進するため、本コンテストを開催していきます。



第1回目のコンテストは朱鷺メッセ中会議室に中学生・高校生合わせて13チーム、49名が集結しました。

平成26年度の会場の様子。朱鷺メッセ中会議室に延べ350名もの来場者が集まり、すし詰め状態でした。



平成27年度からは会場を実際に国際会議室などが行われる朱鷺メッセ国際会議室(マリンホール)に変更。大きな会場に参加者も少し緊張気味?

令和2年度のコロナ禍では、適切な距離を保つなど万全の感染対策を講じて実施しました。



### 新潟県国際交流員(CIR)インタビュー!

現在、新潟県国際課にはアメリカ、韓国、ロシア、ベトナム出身の国際交流員が勤務しています。今回は、令和7年度に新たに着任したアメリカ出身の国際交流員を紹介します!



私の名前はダンルオ Dan Luoです。

国際交流員って? 新潟県庁HP

**Q1.** 出身国・地域はどこですか?

**A1.** アメリカ合衆国のカリフォルニア州から来ました。カリフォルニアの中央部に住んでいました。IT企業が多いので、シリコンバレーと呼ばれることもあります。

**Q2.** 趣味や特技はなんですか?

**A2.** 本を読むのとゲームをするのが好きです。特技と言えるかどうかは分かりませんが、新しいことを学ぶことは好きです。知らない分野からの翻訳の依頼にとても役立ちます。

**Q3.** 日本に興味を持ったきっかけはなんですか?

**A3.** 日本産のゲームですね。高校生の時は時間があつたので、日本語を学ぼうと思いました。あの時代では翻訳されていないゲームが多かったので、日本語が分からなければ読めなかったゲームが多いです。

**Q4.** 新潟の暮らしはどうかですか?

**A4.** 慣れていないことが多かったため、色々な失敗をしました。カリフォルニアでは雨すら少ないのに、新潟では雪まで降ります。強い風で傘を数本壊してしまいました。新潟の皆さんはとても優しいので、おかげで楽しく過ごしています。



なんてことだ!

**Q5.** 新潟のみなさんにメッセージをお願いします!

**A5.** 見かけたら遠慮なく声をかけてください!新潟についてもっと知りたいので、話してくれると嬉しいです。アメリカについての質問も大歓迎です。よろしくお祈りします。

# JICA新潟デスクだより



初めまして。  
JICA新潟デスクの  
大山達也(おおやま  
たつや)です。



HIV/AIDSと結核を併発している  
患者宅への訪問

北海道釧路市出身

大学を卒業後は神奈川県内の総合病院にて管理栄養士として勤務。その後JICA海外協力隊としてアフリカのマラウイ共和国へ派遣、栄養士として活動をする。帰国後は札幌市で外国人向けゲストハウスを運営する会社でマネージャーを勤め、アフリカのタンザニアでゲストハウス開業プロジェクトを担う。コロナ禍を経て、フリーランスの管理栄養士として活動後、2025年4月よりJICA国際協力推進員として新潟デスクに着任。



マラウイ共和国

「Muli bwanji? (ムリ・ブワンジ?)」今でもマラウイの現地語がふとした瞬間に口をついて出てきます。皆さま初めまして、JICA新潟デスクの大山達也です。私は10年前、JICA海外協力隊としてアフリカのマラウイで2年間過ごしました。その時の経験や想いを存分に活かしたいと考え、現在の仕事に就いています。



病院同僚との集合写真

ではなく、地元のお祭りや交流を通して新潟を好きになってもらいたいですし、県民の皆さまには、彼らとの交流を通じて世界との繋がりを身近に感じていただければと願っています。

## ●交流から生まれる「日本の再発見」

私自身、マラウイでの生活では文化や価値観の違いに戸惑うことも多くありました。現地の友人から「日本のことを教えて」と言われたとき、歴史や地理は答えられても、文化や宗教観をうまく伝えられず、案外、自分は日本のことを知らないのだなと痛感したことを覚えています。海外の方からの純粋な「なんで?」という問いかけは、当たり前だと思っていた日本の素晴らしさや個性を再発見するきっかけになります。

これからも、互いの文化や価値観の違いを「楽しみ」に変えられるような交流を、ここ新潟でたくさん作っていきたくと思っています。

## ●JICA新潟デスクとは?

JICA(独立行政法人国際協力機構)は、開発途上国の国づくりを支援する日本の政府機関です。技術協力やボランティア派遣などを通じ、世界の課題解決に貢献しています。その中で、JICA新潟デスクは「新潟県内のJICA窓口」として、国際交流・協力団体の支援、イベントの企画、学校への出前講座など、幅広く活動しています。

## ●新潟は、世界から「若きリーダー」の集う場所

特に力を入れていきたいのが、JICA長期研修員(JICAの支援を受けて日本の大学院で学ぶ留学生)と地域住民の皆さまとの交流です。実は、新潟県内には150人を超えるJICA長期研修員が暮らしており、その数は東京都に次いで全国で2番目に多いことをご存知でしょうか。彼らは2年間の学びを経て、将来は母国の国づくりを担う若きリーダーたちです。そんな彼らには、勉強だけで終わるの



村で新たな食材の調理  
デモンストレーションの様子



患者へのヒアリングの様子

## 外国人相談センター通信

がいこくじん そうだん まど

# 外国人相談の窓から

こま ひと がいこくじん そうだん せんたー  
困っている人がいたら外国人相談センターへ

がいこく るーつ も ひと かぞく がっこう しょくば かんけい ひと  
外国にルーツを持つ人やその家族、学校、職場、関係する人の  
こま ことば そうだん ことば ぶんか  
困りごとを、いろいろな言葉で相談できます。言葉や文化、  
しゅうかん ちがいはん せいかつ なや ひと ちから  
習慣の違いから、日本での生活に悩んでいる人の力になり

ます。  
ざいりゅうしかく しごと きょういく いりょう せいかつ こま  
在留資格や仕事、教育、医療、生活で困った  
そうだん しょうほう つた  
ことの相談のつたり、情報を伝えています。  
ぶらいばしー まも  
プライバシーは守ります。



## 相談方法

- 会って話す：相談センターに来てください。  
でんわ  
● 電話：025-241-1881
- メール：nia10@niigata-ia.or.jp  
おんらいん でんわ めーる もう  
● オンライン：電話かメールで申しこんでください。  
せんもんそうだん にゅうかんてつづき ほうりつ きょうせいしよし きょういく といあわ  
※ 専門相談もあります(入管手続、法律、行政書士、教育)。お問合せください。



くわしくは  
こちらから



Facebook

## 相談できる曜日と時間

げつよう きんよう そうだん うけつけじかん  
月曜～金曜 10:00～17:00(相談の受付時間は16:30まで)  
どにしゆくじつ ねんまつねんし やす  
※ 土日祝日および年末年始はお休みです。

## 相談できる言語

げんご にほんご えいご ちゅうごくご たいご ふいりびご へとなむご ろしあご  
7言語(日本語、英語、中国語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語、ロシア語)  
にほんご はなし  
やさしい日本語でもお話できます。  
でんわつうやく ほんやくき つか ことば はなし  
さらに、電話通訳や翻訳機を使うことで、85の言葉でお話ができます。

